

編集後記

平成7年4月に滋賀県立大学が開学され、すでに20年が経ちました。そこで、環境科学部年報第20号の特集では、「環境科学部20年のあゆみとこれから」と題し、環境科学部4学科の12名の教員の方々に記事を執筆していただきました。開学当初から在籍している教員から、本学に赴任して間もない教員まで、さまざまな視点・立場から環境科学部のあゆみを振り返り、また、これから進むべき方向性を示していただきました。本特集が今後の教育・研究・社会貢献を進める上での一助になれば幸いです。加えて、本号では、2015年度に新しく着任された教員の方々と年度末にご退職された先生の記事を、それぞれ、「私の環境学」と「退職に寄せて」で紹介しています。新しい息吹と積み重ねられた時の深さを感じていただければと思います。

最後に、大変お忙しいにもかかわらず執筆の労をおとりいただいた皆さま、ありがとうございました。

環境科学部年報委員会

委員長 後藤 直成

委員 籠谷 泰行(環境生態学科)

和田 有朗(環境政策・計画学科)

白井 宏昌(環境建築デザイン学科)

畑 直樹(生物資源管理学科)

環境科学部 環境科学研究科

年報第20号 環境科学部20年のあゆみとこれから

発行日 2016年3月31日

発行所 滋賀県立大学環境科学部

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

Tel 0749-28-8301

発行人 増田 佳昭

印刷所 株式会社ヒコハン

表紙写真

左上：滋賀県朽木での森林実習(環境生態学科, 籠谷氏提供)

左下：オープンキャンパスでの模擬講義～もののけ姫から環境問題を考えよう～

(環境政策・計画学科, 和田氏提供)

右上：滋賀県立大学環境科学部のシンボルタワーは環境科学部で教鞭を執った故内井昭蔵先生のデザインによるもの

(環境建築デザイン学科, 白井氏提供)

右下：圃場実験施設での田植え(生物資源管理学科, 須戸氏提供)

裏表紙写真

左上：実習調査船による琵琶湖の観測(環境生態学科, 後藤氏提供)

左下：卒論審査会での学生発表のひとつコマ(環境政策・計画学科, 和田氏提供)

右上：滋賀県の琵琶湖に生息する「葦」を使った構造デザインの検討

(環境建築デザイン学科, 白井氏提供)

右下：有機栽培を行ったキャベツの収穫(生物資源管理学科, 上町氏提供)